

よこすか E C O 通信



第10号(平成25年9月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

まちの中の「みどり」

この夏、キャンプや遠足、散策などで山や森へ出かけて「みどり」とふれあいましたか？「みどり」と聞くと、郊外へ出かけて行く場所、という感覚が強いように思いますが、今回はこういった街から離れた場所にある「みどり」ではなく、街の中の「みどり」に注目してみましょう。

みどりで潤いのある街へ

街の中の「みどり」はどこで見られるでしょうか？例えば、公園やビルの植栽、街路樹、住宅地の庭木などが思い浮かぶでしょう。一つひとつの面積は大きくありませんが、街の中にみどりがあることで潤いのある空間が生まれます。

みどりのある公園は、人々の憩いの場となるだけでなく、街に住む鳥や昆虫などの生き物の住みかとなります。また、街路樹やビルの植栽をうまく配置していくことで、離れた場所にあるまとまった緑地同士をつなぐ回廊のような役割を果たしているみどりもあります。家の庭に実のなる木を植えることで、鳥の姿が見られるようになった、なんてこともありますね。

そして、夏に都市部の気温が高くなるヒートアイランド現象の対策としても、みどりは効果があると考えられています。木陰が日差しを和らげるのはもちろん、草地はコンクリートに比べて表面の温度が低く、また植物の蒸散作用は天然のミストになります。

自然の中の「みどり」を守ることに加えて、街の中に「みどり」をつくりだすことによって、より住みやすい都市になっていくのではないのでしょうか。“みどりをつくる”、“緑化”というと、大きな話のように思えますが、住宅に生垣を取り入れるといったことも緑化の一つです。横須賀市には、こういった緑化を応援する制度があります（中面で紹介しています）。ぜひ、みなさんの力で街の中のみどりを増やし、「みどり豊かな潤いのある街」にしませんか。



みどり豊かな街へ

裏面には季節の生き物図鑑「横須賀の街路樹」の掲載があります。

秋の環境学習講座などのお知らせ

横須賀市自然・人文博物館

特別展示「宝石虫の輝き」 寺林コレクションのタマムシたち

日 時 9月14日(土)から1月13日(月・祝)

場 所 横須賀市自然・人文博物館 特別展示室

博物館交流会

日 時 11月3日(日) 9:30~16:30

場 所 横須賀市自然・人文博物館 講座室

内 容 自然調査を続けている市民、市民グループと学芸員による調査研究の発表と情報交換の場です。

定 員 100名(先着順)

「横須賀の海岸植物見て歩き②久里浜~津久井浜」

日 時 11月7日(木) 9:00~15:00

場 所 久里浜~津久井浜

定 員 40名

締 切 10月31日(木)

申 込 希望者は、往復はがきに行事名・参加希望者全員(家族に限る)の住所・氏名・年齢・電話番号を往信面に、ご自分の住所・氏名を復信宛名面に記入し、博物館へ。希望者多数の場合、市内在住者を優先。野外の催しのため保険料50円が必要です。

問合先 横須賀市自然・人文博物館
〒238-0016 横須賀市深田台95
電話824-3688

コミュニティセンター

「エコバッグで秋の装いを」

日 時 11月13日(水) 9:30~15:00

場 所 浦賀コミュニティセンター分館 3・4学習室

内 容 紙バンドを使ってエコバックを作ります。

定 員 24名(抽選)

費 用 材料費900円

締 切 10月31日(木)

申 込 講座名・住所・氏名・年齢・電話番号を記入して、往復はがき・E-mail・窓口(返信用はがきを持参)へ

問合先 浦賀コミュニティセンター
〒239-0822 浦賀5-1-2 電話841-4184
E-mail urph-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp



市民大学後期講座(全23講座)

「21世紀のエネルギー問題」

~太陽光発電とパワーエレクトロニクス~

日 時 11月30日、12月7日、14日、21日

全4回(いずれも土曜日)

13:30~15:30

場 所 生涯学習センター(まなびかん)

講 師 防衛大学校 守本 純 教授、宮崎 尚 助教

内 容 エネルギー問題の本質を指摘し、解決策としての新しいエネルギー源等について考察します。

定 員 80名

受講料 2,000円

締 切 9月24日(火) 20時

応募方法 ハガキ、電話、インターネット、窓口のいずれか

応募・問合先 生涯学習センター TEL046-822-4873

〒238-0046 横須賀市西逸見町1-38-11

詳細は生涯学習センター ホームページまたは市民大学募集要領をご覧ください。

<http://www.mmjp.or.jp/shogaigakushu/>



多摩・三浦丘陵の緑と水景に関する広域連携会議

多摩・三浦丘陵ウォーキングラリー

2つの丘陵に関係する13自治体の連携による催しです。

日 時 11月16日(土) 9:00~15:00

場 所 スタート 京急三崎口駅(受付9:00~10:30)

ゴール ソレイユの丘(受付11:00~15:00)

コース 全長9km(約3時間)

三崎口駅→和田長浜海水浴場→佃嵐崎→荒崎公園
→荒崎漁港→熊野神社→漆山湾→長井漁港
→ソレイユの丘

定 員 300人程度

申 込 ①申込用紙をFAX(03-3272-6017)で送信

②インターネット「多摩三浦丘陵トレイル」で検索

<http://www.tama-miurahills.com/>

(申込用紙の取得もこちらのHPから)

申込期間 10月15日(火)~11月13日(水)

問合先 横須賀市環境企画課みどり計画担当 電話822-8331

「自然ふれあい楽校」オータムフェスタ2013

秋空の下、「めぐりの森」のゆたかな自然と仲よくなろう!

	11月	プログラム	時間	募集対象/人数
①	22日(金)	秋の夜の自然観察会 ~野原と星空~	16:30~19:00	こども~おとな 20人
②	23日(土) ※雨天は24日	茅葺き体験ワークショップ	10:30~16:00	高校生以上 10人
③	23日(土) ※雨天中止	前田川(支川・尾形瀬川) ~秋の完全踏破~	9:30~15:00	小学4年生以上 20人
④	24日(日)	森のクラフト教室 ~あけび、ふじつる細工~	13:30~16:30	中学生以上 10人

場 所 湘南国際村めぐりの森、湘南国際村センター

費 用 ①③ 500円、②④ 1,000円

申込期間 11月1日(月)~20日(水)*定員になり次第締め切り

申 込 内容番号(①~④複数可)と〒・住所・氏名・年齢・電話・FAX を
往復はがき、メール、FAXのいずれかで送信

問合先 三浦半島「自然ふれあい楽校」

〒240-0105 横須賀市秋谷4575-2 野崎方 E-mail miurafureai@gmail.com TEL・FAX 046-857-8636



エコ活動みつけた

横須賀市内で環境に関する活動をしている団体をご紹介します。

(株)横須賀ファーム 長井海の手公園ソレイユの丘



長井小6年生による田んぼの網張の様子

平成17年の開園年度に、ホタルを育てるためにビオトープをつくりました。今では毎年、長井地区の市民観察会を行っている他、近隣の長井小学校の総合学習の一環としても活用されています。ビオトープはホタルだけでなく、多くの植物や昆虫が生息し、鳥の飛来も増え、生物の多様性が形成されています。

現在、ビオトープの他に、ホタルのより自然な生育環境として、田んぼづくりも進めています。10月5日(土)に稲刈りを行う予定です。

連絡先 長井海の手公園 ソレイユの丘

住所：横須賀市長井4丁目地内 電話：046-857-2500

FAX：046-855-0850 <http://www.yokosuka-soleil.jp>

お知らせ

第4回 横須賀ECO大賞 募集

～横須賀市内の優れた環境活動を募集します～

横須賀ECO大賞は、自然に親しむ活動や、温暖化問題への取り組み、環境に関する学習など、学校や地域などで、継続して行われている環境活動を表彰する制度です。

対象 市内で継続的に環境活動を行っている団体（自薦・他薦は問いません）

表彰部門

(1) 大賞

(2) 部門賞

①学校・園部門（小・中学校、高校、幼稚園、保育園での活動）

②地域活動部門（地域活動団体、町内会・自治会、事業所等での活動）

(3) 特別賞

*大賞、特別賞は応募いただいた全ての活動の中から選考します。

応募方法 応募用紙を郵送・FAX・Eメール等で提出（応募用紙は市役所、行政センター等で配付。また市ホームページからダウンロードできます。）

募集期間 9月2日(月)～10月31日(木) 必着

表彰 平成26年2月1日(土) 開催予定の「よこすか環境フォーラム」内

応募・問合せ先 横須賀市環境政策部環境企画課 総務担当

TEL：822-8327/FAX：821-1523

E-mail：ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

*ホームページの応募用紙掲載ページ：<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/katsudou/>

環境学習リーダー養成講座

神奈川県環境活動人材育成講座のお知らせ

日時 10月5日(土)、12日(土)、19日(土)、26日(土)、
11月1日(金)、9日(土)、16日(土) (全7日間)

場所 神奈川県環境科学センター(平塚市四之宮1-3-39) 他
内容 環境に関する専門分野の講師による講義やワークショップの手法、学習プログラムの体験、施設見学など
*8割以上出席の方には、修了書を授与します。

締切 9月20日(金) 必着

申込 HPの応募フォーム又はハガキ

問合せ先 神奈川県環境科学センター

環境活動推進課 環境学習担当

〒254-0014平塚市四之宮1-3-39

電話0463-24-3311 (内線417)

詳細はHPをご覧ください。

<http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/learning/event/event.html>

「民有地緑化支援制度」

みどりの街なみづくり補助金

横須賀市では、市街地の目に見える「みどり」を増やし、うるおいある街なみづくりのため、住宅や事業所を緑化する場合、その費用の一部を補助します。

補助対象：市街化区域内の住宅と事業所
(風致地区は除く)

補助メニュー：樹木植栽、生垣設置、駐車場緑化、屋上緑化、壁面緑化

*各種条件がありますので、申請前に担当へお問い合わせください。

*詳しいパンフレットは、市役所2号館6階環境企画課、行政センター、役所屋、市HPで入手できます。

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/m-hojokin/index.html>

問合せ先 横須賀市環境企画課 みどり計画担当

電話822-8331



街路樹は、景観に彩りを添え、季節を豊かに感じさせてくれるだけでなく、地域のシンボルにもなるものです。横須賀では、馬堀海岸のフェニックスや平作川沿いのマテバシイやナンキンハゼ、不入斗運動公園周辺のハナミズキなどがその代表ではないでしょうか。

緑の少ない下町を歩いていても、大滝町にはケヤキ、若松町にはモミジバフウ、千日通りにはイチョウ、マテバシイ、ナツツバキ、市役所前にはプラタナスやトウカエデなどなど…。通りごとに異なる樹種が植えられ親しまれており、手軽な自然観察を楽しむことができます。

ここでは、街路樹としてよく利用されているのに、ちょっとなじみの薄い植物をご紹介します。紅葉の季節に、ときに街路樹にも目を留めて草木に親しむ機会としてください。

モミジバフウ：早春の花としてよく知られるマンサクやトサミズキと同じマンサク科の植物で、北アメリカ原産です。中国原産のフウも街路樹などに使われますが、これは葉の先が3つに分かれています。モミジバフウは、その名「モミジ（紅葉）」のように葉の先が5つに分かれます。フウとは中国名の「楓」の音読みですが、日本では「楓」をカエデに当てていますのでちょっとやっかいです。モミジバフウはモミジに似た葉をもつフウというわけです。原産地に由来したアメリカフウの名もあります。花は花弁がないので目立ちませんが、果実は球形で枝からぶら下がってつきます。また、秋には赤や黄色に紅葉します。葉を一見するとカエデかなと思いますが、カエデの仲間は葉が対生するのにに対し、モミジバフウは葉が互い違いに付き、識別は比較的簡単です。



若松町のモミジバフウ
(円内：葉)

モミジバズカケノキ：プラタナスの一種で、スズカケノキとアメリカスズカノキの交配種で、街路樹としてもっとも多いプラタナスです。樹皮ははがれやすく、その跡が薄茶色や薄灰緑色のまだら模様になります。果実はたくさん集まって球形になり、枝に通常2個ずつついてぶら下がります。スズカケノキは3個以上、アメリカスズカケノキは普通1個つきます。日本には明治末期に移入されました。



市役所前16号線沿い
モミジバズカケノキ
(円内：樹皮)

ナンキンハゼ：トウダイグサ科の樹木ですが、ウルシ科のハゼノキ同様、紅葉が美しく、果実から蠟が採取され、そして中国原産であることからナンキンハゼ（南京はぜ）と名付けられました。かつては蠟を取るため、材から家具などを作るために栽培されましたが、今では紅葉だけでなく、新緑もさわやかで美しく、紅葉と白い種子のコントラストも鮮やかなのでもっぱら街路樹として栽培されています。葉は丸みのあるひし形で先が長くとがり、とても特徴的です。花はたくさん集まって、細長い花序（かじょ）をつくります。花には雄花と雌花があって、先の方に雄花が、元の方に雌花が咲きます。果実は熟すと裂け、白い3個の種子があらわれます。



久里浜平作川沿い
ナンキンハゼ
(円内：葉)

(横須賀市自然・人文博物館 大森学芸員)

みなさまからのECOな情報も募集してます。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館
(発行元) 〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL 046-822-8327 FAX 046-821-1523

E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。
「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

